

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【I、III、V】
2 実施対象者	札幌市立平岡公園小学校 6学年110名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	本校では、6学年総合的な学習の時間に「職（働く）」を設定している。様々な職業に就かれている方をゲストティーチャーとしてお招きし、仕事を通して得られる喜び、働きたい、生きがい、そして苦労、課題などをお聞きする中で児童一人一人が自己の生き方を考えることをねらいとして取り組んでいる。 今回、パラリンピアンである「永瀬 充」氏をお招きし、お話を伺う機会を得て、児童一人一人に「夢」をもち、あきらめずに取り組み続けることの大切さを深く心に刻む機会にしてほしいと願い、本学習を設定した。
5 取組内容	永瀬さんに、パラリンピックでの体験、そこに至るまでの努力、持ち続けた「夢」等の体験をお話しいただき、児童との質疑応答等を通して、児童一人一人が自己の生き方を考えるきっかけとする。 ○指導計画 「総合的な学習の時間」 2時間 <4/9時間> ・事前に講師（永瀬さん）のプロフィール等をまとめた資料を配付しておき、講師からどのようなことを学びたいかを各自整理しておく。 <1時間> ・講話を通して、自分のこれまでとこれからについて考え、実際の質疑を通して、実感の伴った理解につなげられるようにする。 <5/9時間> ・講話や質疑を通して、自己の生き方について考えたことを整理し、

	今後の学校生活に生かせる内容を具体的な目標の形に置き換えていく。 
6 主な成果	卒業を控えた6年生児童が、自己の将来、今後の生き方を考えるにあたり、講演者の体験を講話として伺う機会を通して、スポーツを通して「努力すること」の価値、「あきらめないこと」の意義について考えることができた。 また、夢の実現に向けて自らの人生を切り拓いていく過程での、多くの人との出会いや援助への感謝の気持ちを講話を通して共有することができた。 講話を通して、感じたことや考えたことを一人一人が整理し、自己の生き方について振り返るとともに、今後の目標をより一層強く明確にもつことができた。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	取組の内容に記載した通り。
8主な課題等	今回は、総合的な学習として位置付けられた「職(働く)」にぴったりの内容で行うことができた。今後もこうした機会を継続して行うことができれば児童にとっての学習効果は計り知れない。しかし、毎年このような機会をいただける保証はないため、次年度は質疑の時間を長くして、児童の考えをより深めたいと願っても難しい。その点が非常に残念である。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。